

新年のご挨拶



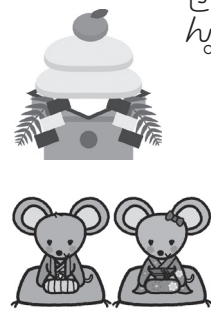
国民健康保険
智頭病院院長
秋藤 洋一

新年あけましておめでとう
ございます。令和初めての
正月となりました。

智頭病院は町民の皆さんに
安心して本町に住んでいただ
くために、病院での診療以外
に在宅医療を展開しています。
24時間対応可能な訪問診療・
訪問看護、訪問リハビリテー
ション、訪問歯科診療、訪問
薬剤指導など皆さんのおうち
に出かけて、日常の生活のお
手伝いをさせていただいてお
ります。さらには、那岐・山
形診療所での診察も行ってい
ます。これらは、鳥取県の他
の市町村にはなかなかない取
り組みで、町外の皆さんから
は、「とてもうらやましい」と
思われています。

昨年9月、厚生労働省は全
国の公立病院などのうち、再
編や統合を議論すべきだとす
る全国424の病院について実名

を公表しました。幸い智頭病
院は含まれていませんでした
が、線引き基準によっては智
頭病院も含まれていたかもしれ
ません。



今年の干支は子です。「子」
という漢字は「慈」や「孳」
という漢字に通じ、新しい
生命力が想像される様子をあ
らわすとされています。「慈」
はいつくしむと読み、かわい
がる、大切にする、深い愛情
を持つて接する意味がありま
す。「孳」はつむ、しげると
読み、子を生む、繁殖するこ
ういう意味があります。

町内に住まれている人には
身近であるために当たり前に
なっていて、病院のありがた
さを実感されないのかもしれ
ません。少子高齢化が進むな
か、人が生まれ、人が育ち、
人を慈しみ、そんな智頭病院
がいつまでも繁栄し、絶える
ことなく続きますよう祈るば
かりです。

老健ほのぼの祭り

11月27日（水）、智頭病院
3階の老人保健施設「ほのぼ
の」で、毎年恒例の『老健ほ
のぼの祭り』を盛大に開催し
ました。

この祭りは、毎年老健ほの
ぼのに入所中の皆さんとその
家族、職員が一緒になって
行っています。

恒例の『ぶり』の解体ショー
をはじめ、職員による傘踊り
やダンス、また、今年は何元
智頭農林高校の生徒による麒
麟獅子舞と、たくさん催し
を行い、入所中の皆さんはも
ちろん、家族も含め、たくさ
んの笑顔と笑いに包まれまし
た。

老健ほのぼの施設長の挨拶
の後、職員と参加者で、『花
が咲く』や、参加者には馴染
みのある『北国の春』に併
せて体操するなどして体を動
かしました。少しずつお腹が
空いてきた頃に『ぶり』の解
体ショーの開演。前日に水揚
げされたという大きなぶりに
皆さん大興奮の様子で、瞬き

するの忘れ、切り身、そし
て桶盛りへと形を変えていく
ぶりに釘付けに。調理中にも、
「一口ちょうだい」「早くこっ
ちに」など、皆さん待ち遠し
い様子。解体したぶりは、入
所者やその家族に振る舞われ
それぞれが新鮮なぶりの刺身
に舌鼓を打ちました。



農林高生による獅子舞では、
その勇壮な姿を、皆さんが手
を叩きながらじっと見つめて
いました。

今回の皆さんの笑顔を励み
に、来年以降も続けていきたく
いと思います。

